

屋久島町議会だより

令和6年(2024年)6月10日 NO.66



町民の声カウンター

36

令和3年10月～
議会だより宛てに届いた意見数

第1回定例会

一般質問 8人が町政をたず

陳情・請願の審査結果

令和6年度一般会計予算案の修正案

議員定数調査特別委員会調査報告・定数条例改正

町民との意見交換会で出た質問等への回答

・ ・ P 2

・ ・ P 10

・ ・ P 14

・ ・ P 16

・ ・ P 17

・ ・ P 22

令和6年第1回定例会

3月7日～21日

令和6年度予算

一般会計	113億7,700万円
特別会計	39億30万円
企業会計	23億7,299万円

「みんなのお金」の使い道、議会はこう審査しました

学校給食センターの 事業計画

基本計画策定
1700万円

集落の活力アップ 交付金に 関する条例の一部改正

今回、継続するという方向で条例の一部改正に至ったと思うが、交付基準額等については、どのように考えているか。



大角利成

観光まちづくり課長 令和2年度から4年間実施してきたが、特に大きな問題もなく、集落にも浸透していることから、継続していくことと決定した。集落の人口が減っているところがある。交付額の限度額を人口割で決めているので、前回の交付額よりも下回る場所が出てくる。10万円下がるところを5万円までということで緩和できるような措置を取る。



中身の内容と今後のスケジュールは。



相良健一郎

教育総務課長 基本計画策定事業務に関しては、政策推進課の管轄している多目的交流センターと同様に、今までの手法でいいのか、民の力を導入するほうが効率的なのかということまで含めて、令和6年度に基本計画の策定事業委託を計上している。今後の予定については、令和6年度に計画の策定、7年度に公募、設計、8年度、9年度に調理場の建設、10年度より稼働を目指している。

放課後児童クラブ

放課後児童健全
育成事業委託金
6000万円

事業所は何か所で対象児童はどれぐらいか。



穂光徳

福祉支援課長兼福祉事務所長 昨年については5事業所がやっていたが、今年については1つ増えて、6事業所で行う。しかしながら、前年比で比較すると、当初予算では325万円程減額。今年度は、児童利用数が若干減ると見込んでいる。

海の環境を守る

海中環境保全等事業

950万円

環境に配慮したガイドライン、グリーン・フィンズの導入、海の特設サイトの運営管理費もこの事業に含まれていると思う。当初予算に含まれていないのが海底清掃の部分だと思うが、この事業計画書に継続して実施できる仕組みと書いてあるが、担当課として継続というのはどれぐらいの期間の継続を見込んでいるか。



中馬 慎一郎

観光まちづくり課長 今回当初予算において、海底清掃は、体制整備が図れなかったため先送りをしているが、受入れの体制整備が確立後に補正予算にて計上したい。海底清掃の部分については、継続して今後も取り組んでいくべきだと思っている。

令和4年度から3か年計画で始まった事業



地元事業者を主体とした体制の検討を進めている海底清掃

中馬 慎一郎 今後これを継続していく場合には、例えば海底清掃の部分に関しては、ほかの生活環境課と一緒にやっていくなど、プロジェクトをもう少し細分化して見えやすくした方が良いのでは。

観光まちづくり課長 議会からも意見があったように、町内の事業者等を主体として実施できる体制となるよう検討を進めているところ。当然、関係所管とも協議しながらやっていきたいと思っている。

屋久島高校みらい留学生の寄宿舍

寄宿舍運営業務委託

384万円

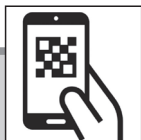
地域おこし協力隊による寄宿舍事業という理解で良いか。



日高 好博

政策推進課長 地域おこし協力隊を寮母として運営をしたいということで、今回借上げ料を400万円計上している。今のところ基本的にはお子様1人に町から4万円補助をしていて、保護者から4万円徴収している。その4万円を基礎に借り上げた場合、10名ぐらいだと400万円ぐらいになってくるので、その400万円と、あと地域おこし協力隊の経費として4万円掛ける人数分が活動費という形で、その4万円掛ける人数分の活動費の中で食材費だったり光熱費を払ってもらい、その他宿舎にかかる経費を払ってもらおうという形にしている。

動画でチェック



本会議の様子を動画で観ることができます

3月7日①



3月7日②



3月21日①



3月21日②



総務文教常任委員会

多目的交流センター

の整備事業に係る事業者選定

渡邊博之 多目的交流センターの建設について整備事業者の選定委員報酬は。

政策推進課長 提案者から最終的に上がってきたものを選定するための専門的な知見を持った委員を選定し、その委員報酬として17万1000円計上している。

渡邊博之 業者者選定支援業務委託についての説明を求める。

政策推進課長 選定支援業務は屋久島町がPPP手法（※1）を導入して実施する多目的交流センター建設管理運営事業について実施方法や公募資料の公表、提案審査、事業者選定、契約の締結までの必要となる各種検討及び募集資料等の作成を行い、本事業を実施する民間事業者の募集から選定までのプロセスを的確に推進することを目的として、実施内容のバリューフォーマナー（※2）の算定、募集書の作成、要求水準書等の作成、募集書類の質問に対する回答支援。事業者提案の審査支援、審査委員会への運営支援、契約締結に係るまでの支援という事で、業務期間を18カ月で令和6年度の予算として2871万円と、翌年度の債務負担行為まであげている。

※1 PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）手法とは、公民が連携して公共サービスの提供を行う計画。

※2 バリューフォーマナーとは、経済用語のひとつで、「金額に見合った価値」という意味。

安房中学校のグラウンド整備

大角利成 安房中のグラウンド整備はどのように改修するのか。

教育総務課長 現在、安房中学校のグラウンドは大変水はけが悪く、雨の後はほとんど使えない状況になっている。工事の予定としては、校庭の真ん中にある芝生を全部はいで、新しい砂を入れる。また町の野球場側に側溝を入れて水はけを良くする。

職員の育児休業等に関する 条例の一部改正

渡邊博之 会計年度任用職員の枠が広がるという事は、正規職員を減らして、会計年度職員を増やすということになるのか。そうすると交付金の算定に影響があるのか。

総務課長 会計年度任用職員が増えたから職員が減るというものではなくて、これまで委託していた業務が、身分保障した会計年度任用職員に業務をやってもらい、職員については、定数条例もあるので適正な人員で定員管理しながら、一定数を確保していくのが町の考え方である。職員数が減れば自ずと交付税も減る可能性がある。

屋久島高校みらい留学生 の寄宿舍

中馬慎一郎 高校の寄宿舍利用料収入の算出根拠と寮母との契約はどうなっているのか。

政策推進課長 今確定している入寮者が7名、検討中が1名との事なので予算としては8名で組んでおり、これまでの保護者負担分が町への収入となる。寮母は地域おこし協力隊で採用しており契約は1年ずつの最長3年で考えている。今後の屋久島高校の応募定数を見ながら、検討課題があるので3年後も更新していくか、持ち主と協議を進めていきたい。



尾之間サマナホテルの温泉料金の値上げ (旧 JR ホテル)

大角利成 温泉の料金が上がると一般利用者も減り、町への入湯税も減ることになるのではないか。新しい事業者が料金を上げることに町への相談などはあったのか。

政策推進課長 島民の入浴料が上がり入浴客が減れば入湯税は減る。温泉に関する協定で、新たなホテル事業の継承に伴い、当初の契約の中で町民への還元という部分の表現がなかったので、これまでの温泉協定に賛同して頂き、屋久島町民への優待制度を継続するものであるという形で明記された。ただ今回もこの条項に基づいて優待はするが、料金の値上げはさせていただきたいという相談があった。



サマナホテル屋久島の温泉浴場

公民館への光通信導入 現状は

渡邊浩 公民館のブロードバンド導入整備事業補助金の詳細な説明を。

総務課長 公民館等の光ブロードバンド整備事業については、通信費の助成として、200世帯未満の集落及び400世帯未満で高齢化率が40%以上の集落については年間6万円、その他は年間1万円ということで令和5年度から運用を始めている。

消防隊員は足りているか

岩山鶴美 熊毛地区消防組合の職員の充足率はどうか。

総務課長 令和5年度の採用は新規採用3名を採用し、管理職が再任用という形になるので、現状より少し増えることになり充足率については、足りているという認識である。



口永良部島出張所の 職員宿舎

中馬慎一郎 2名の新規採用者の配置、また住居はどうなっているか。

総務課長 新規採用の1名は口永良部出張所勤務、もう1名は口永良部出張所を併任して学校給食センター等の管理に携わる。新規2名については、新しく出来た職員宿舎に入る。



新規採用職員2名が勤務・居住する口永良部島出張所

産業厚生常任委員会

町営牧場等の 指定管理者との契約

これまで町が運営してきた町営牧場を令和6年度から指定管理者制度に移行しました。

日高好作 期間を1年とした理由は。

産業振興課長 これは先方と協議をする中で、先方も初めてのことでとりあえず1年やってみて様子を見たいということでの、1年間とした。



旭牧場牛舎の様子

本村温泉再開の目途は

石田尾茂樹 ボイラー等が壊れているということで、今発注中ということだが、いつ頃から再開するのか。

観光まちづくり課長 昨年4月に温泉が使えないという連絡を受けて、調査業務委託を行った。設置後15年以上経っていることもあり、ポンプの設置で正常に起動するのではないかとということで、ポンプの発注をかけている。4月には入ってくるというふうに聞いている。ただし、新年度予算において、ボイラーも予算を500万円ほど計上している。こちらも、15年以上経過しており経年劣化しているので、ボイラーの工事が終わり次第、早急に再開したいと考えている。



故障のため休業中の口永良部島本村温泉

すこやかベビー出産祝金の増額

令和6年4月より、祝金の増額をするための条例改正。

第1子・第2子5万円を10万円に
第3子以降10万円を20万円に増額



石田尾茂樹 出産祝金を上げるということには何も異議ないが、祝金を上げることで出生率が上がると思うか。もう少し施策を考えるべきと思う。出生率の上がっている市町村の例とか、いろいろテレビでもやっている。子育てのしやすい環境とか、若者が定住するとか、やはりこれと一緒に併せて考えていかないと、出生率の上昇には繋がらないので、今後検討していくべきでは。

福祉支援課長 これで出生率が向上するとは、まったく思っていない。これについては、子育て支援の一助という意味合いが強いかと思う。

農業用廃プラスチックの 適正処理

真辺真紀 農業用廃プラスチック類の適正処理に取り組んでいくということだが、そもそも生分解性のあるものを導入するとか、そういう議論はないか。

産業振興課長 今のところ、そういう議論はない。

真辺真紀 導入している事例がほかの自治体でもあるので検討していただけたらと思う。屋久島の農地は人里、海岸付近にあるところもかなり多い。今、海洋へのマイクロプラスチックの影響なども取り沙汰されているので、屋久島町はそういう視点も持って農業振興しているということが広くPRできれば、屋久島の農産物を食べたいということにも消費にもつながってくる。なので検討の課題に加えていただければと思う。

※生分解性マルチフィルム・・ポリマルチで行っている作物の栽培途中や収穫後の剥ぎ取り作業や廃棄物処理が不要なフィルム。

漁業の今後と 燃油補助について



石田尾茂樹 トビウオの船数が年々減ってきている。原因のひとつに魚価が安定していないことがあると思うが、それには販路拡大・商品開発など、きちんと町が指導して、もうちょっと考えていただきたい。それと農業も含めて燃料高騰により厳しい状況であるので、時期を決めて燃油の補助ができないかという要望する。

産業振興課長 トビウオについては、令和5年度に急速冷凍機を導入したので、フィレなど売れ行きの良いものもあるので、そういったものをたくさん獲れた時に島の中で加工し、安定供給ができるようにこれから進めていきたい。燃油の補助については、これまで国からの交付金が入ってきており、それで対応させていただいた。令和6年度については、今のところ国からの交付金の情報はなく、必要であれば、産業振興課としては、産業を支える立場にあるので、予算要望をしていきたいと思う。

黒葛原翁 100 周年 事業の計画は

相良健一郎 黒葛原さんの事業、今年100周年ということで200万円組んで頂いたと思うが、どういうプランか。

産業振興課長 今月中に実行委員会を立ち上げる。大きな内容としては、劇団にお願いして黒葛原翁の取り組みを劇にできないかというのが1点、あと今後の屋久島が目指すべき、これからの100年後に向けた取り組みに焦点を当てて講演ができないかというのがある。

「ポンカン」を日本での移植栽培に成功した、黒葛原兼成翁。ポンカンが屋久島に導入されたのは大正13年。もろもろの悪条件と闘いながら遠く台湾から苗木を屋久島に移入栽培したのが始まり。

今年は100周年にあたるため、100周年事業を町が実施する予定となっている。



令和5年11月、99年式典の際に撮影された原木

今後の林業の担い手

渡邊千護 林業者担い手がすごく減っていると聞く。その中で、屋久島町と、例えば森林組合とか、そういう研修を常に行ってほしい。人を集めるための検証をしていただきたいと思うが、計画があるか。

産業振興課統括係長 林業の研修については、熊毛支庁に普及員がいてそこをお願いしている。そこを中心に、今働いている人たちへの研修はしているが、新しく働きたい方へ向けた研修はこれまでしたことがないので、そういった意見も上げていきたいと思う。

傷みやすい町道の整備

日高好作 一番荒れる安房Aコープ前は、今回の整備でもアスファルト舗装の厚さは同じか。

建設課長 舗装の厚みは一緒。その変わり土質改良している。下の地盤を強くするためにセメントを混ぜ込んで転圧をかけている。県との協議のなかでは、コンクリート舗装がいいのではないかというところもあったが、かなりの費用がかかるので、計画通り土質改良を行った。

海中環境保全事業

渡邊千護 (この事業は3か年の事業で) 令和4年度が1700万円弱、令和5年度は2000万円近く。令和6年度は950万円だが、金額が下がった理由は。

観光まちづくり課長 当初、清掃活動についても継続していく形で、事業費としては計上していたが、当初予算を計上する中では、確立できなかったもので、清掃に係る部分については、今後の状況で補正予算で対応ということで、その部分を抜いて、こういった取り組みの部分(グリーンフィンズ導入)だけの900万円ということで計算している。議会の中からも、清掃活動については続けていくべきだという中で進めているので、地元の中でできるような形で、多くの方が地元町民の方が参加してできるような事業となるよう、いま一度事業を見直したい。

令和6年第1回定例会 会期：3月7日～3月21日

3月7日(木)	開会
3月8日(金)	一般質問：渡邊浩、中馬慎一郎、渡邊博之、高橋義友
3月11日(月)	一般質問：渡邊千護、真辺真紀、大角利成、榎光徳
3月13日(水)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
3月14日(木)	常任委員会(総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会)
3月21日(木)	最終本会議

	結果	渡邊浩	内田正喜	小脇淳智郎	中馬慎一郎	真辺真紀	相良健一郎	岩山鶴美	渡邊千護	榎光徳	緒方健太	高橋義友	日高好作	岩川俊広	渡邊博之	大角利成	石田尾茂樹	
損害賠償の額を定めることに伴う専決処分事項報告承認	承認	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度一般会計補正予算(第8号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度上水道事業特別会計補正予算(第4号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度診療所事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度後期高齢者医療事業特別会計(第2号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和5年度船舶事業特別会計補正予算(第3号)	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
財産の取得	可決	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営牧場等の指定管理者の指定	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
口永良部島本村温泉の指定管理者の指定	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
地方自治法の一部を改正する施行に伴う関係条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
集落の活力アップ交付金に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
職員の育児休業等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
すこやかベビー出産祝金支給条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
ひとり親家庭医療費助成に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹	
重度心身障害者医療費助成条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
国民健康保険税条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営旭牧場条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営旭牧場子牛育成センター条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営長峰牧場条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営住宅管理条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町営単独住宅管理条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育支援委員会条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
給水条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
電気事業供給条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度一般会計予算	可決	○	○	×	欠	×	○	○	×	○	○	×	○	○	×	○	○	-
令和6年度上水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度農業集落排水事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度診療所事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度船舶事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和6年度電気事業特別会計予算	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
教育長の任命	同意	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
パレスチナ・ガザでの即時停戦と人道支援再開を求める決議(案)	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
専決事項の指定	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
町議会議員定数条例の一部改正	可決	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	-

欠席理由 内田正喜・親族の不幸、中馬慎一郎議員・親族の不幸

※陳情・請願についての採決結果は別ページに掲載 ※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

一 般 質 問

16人中 8人が一般質問しました

一般質問とは、議員が町の施策の状況や方針などについて、議会の場で報告や説明を求めたり、質問をすることです。

一人の議員に与えられる制限時間は60分です。
(一般質問は、議員本人の責任において掲載しています。)

渡邊浩	P
1. 訪日外国人旅行者受入環境整備事業 2. 屋久島町 PR 大使	10
中馬慎一郎	
1. 危険家屋対策 2. 屋久島町エコツーリズム法全体構想の推進に向けた取組体制	11
渡邊博之	
1. フリースケール 2. 口永良部島の水道事業不祥事問題と水道料金値上げ 3. 多目的交流センター建設	11
高橋義友	
1. 一湊地区揚排水機場の整備は完了したのか 2. 一湊林道の改修 3. 本年度で期限が切れる旧一湊中学校教室・テニスコート・トイレの今後の利活用 4. 旧一湊中学校跡グラウンド整備及びトイレ	12
渡邊千議	
1. 海底清掃プロジェクト	12
真辺真紀	
1. 児童が島外の医療機関を受診する際の旅費と宿泊費の助成 2. 懲罰委員会	13
大角利成	
1. 国民保護訓練に基づく避難訓練 2. ウミガメの産卵	13
榎光徳	
1. 大規模災害時における避難対策 2. 橋梁等の耐震化 3. 屋久島高校の学生寮の必要性	14



訪日外国人旅行者受入れ環境整備事業について

問 この事業が今年度で終わる予定だが、今後、継続する予定はないのか。

答 町長 本事業については、今後、増加が見込まれる海外からの観光客がストレスや不満等を感じることなく、町内観光をしていただけるように、平成30年度に外国人旅行者に対する観光利便性アンケート調査を実施をし、その結果を踏まえ、令和元年度に創設したものの。補助内容としては、外国人観光客を積極的に受け入れるという観光関連事業者などが実施する翻訳機器の導入や外国語表記メニュー表作成など、外国人旅行者が滞在しやすい環境を整えるための事業に対し、1業者50万円を上限として対象事業費の2分の1を支援をしている。

問 令和7年度以降、前向きに検討していかれるか伺う。

答 観光まちづくり課長 今年度で終わる予定とはなっているが、また同じような事業を実施できるか検討してまいりたい。

PR大使を増やす予定はないのか

問 屋久島町として現在PR大使を1名任命しているが、今後、増やす予定はないのか伺う。

答 町長 本町では平成23年3月に屋久島いとこ設置要項を制定をし、屋久島のPR活動や本町の振興についての指導、助言、情報提供を行う役割として、当時の町長の政治的、政策的に関わりのある方々を任命して、屋久島いとことして活動をされてきている。本町の振興への指導や助言、屋久島のPR活動をしていただく方を新しい要項の下で先月1名の任命を行ったところ。私の在任期間に屋久島への思いが深い、そのような方と巡り会えたら大使として任命をしていく考え。

危険家屋対策の現状と対策について伺う



中馬 慎一郎 議員

答 町長 空き家等の実態調査結果は令和6年3月現在で空き家489戸、危険度が高い管理不全空き家が80戸あり、特定事務による所有者調査を

完了した22戸の所有者及び法定相続人に対し、調査意向、危険家屋解体撤去補助金の案内を現在行っている。令和5年度の屋久島町危険家屋解体撤去補助金の交付件数は4件。補助金制度執行年度の平成23年度から令和5年までの助金交付件数は77件。

問 今後の補助制度の見直しはあるか。

答 建設課長 家屋の解体補助金が解体費用の30%で30万円上限という形になっているが、解体費用も上がってきており、上限額を検討していく時期には来ている。

答 町長 補正予算などを組んで解体補助は最低でも50万円ぐらい出すような財政措置をしていきたい。

屋久島町エコツーリズム法全体構想推進に向けた取り組み体制の見解について伺う

答 町長 令和5年8月に環境省より認定省の交付されたエコツーリズム法全体構想の中で、自然環境保全につながる仕組みづくりとして資源循環型社会の構築を挙げて、廃棄物の再資源化や豊富な水資源を活用した水力発電による脱炭素化の推進など、生活環境分野での取組を言及している。さらにエコツーリズムを活用した地域づくりとして、集落が主体となり地域住民が参加し、地域ならではの魅力を掘り起こし、体験型環境学習の実践や観光客と住民との触れ合いなど、多彩な屋久島の魅力を通して地域活性化へつなげていき、農林水産業や食、工芸品などの地場産業と連携をし、屋久島世界自然遺産食の条例に基づく地産地消の推進や農林漁業と連携をしたプログラム推進を図るとともに、1次産業と観光業が融合できる仕組みづくりについても支援強化を図っていきたい。また観光基本計画や町の第3次振興計画にもエコツーリズム法全体構想を連動し、取り組んでいきたい。



フリースクールについての認識は



渡邊 博之 議員

問 議会が採択している「フリースクールへの理解と支援を求める」請願についての認識を伺いたい。

答 教育長 教育の機会均等の基本理念に基づき、子供の不登校問題は最優先に取り組むべき課題で、フリースクール設立の支援などを含め政治が策を講じることは大切なことと認識している。

問 スクールを訪問することを求めたい。

答 町長 近いうちの訪問を約束したい。

水道料金の値上げについて

問 水道料金の値上げが懸念される。3つの理由で反対だ。1つは厳しい町民生活の現状がある。コロナ終息でも、暮らしも営業もまだ回復していない。加えて異常な物価高騰が住民生活に襲い掛かっている。その一方で年金カット、医療費負担増で収入は目減りしている。町内の非課税世帯(1人年収100万円未満、2人世帯で200万円未満)は2500世帯に及び、全世帯の37%にあたる苦しい状況がある。2つ目は、赤字を作り出したのは行政の運営上の問題で、町民には何の責任もない。収支を見ながら、事業計画の見直しで赤字を出さない運営に務めることは民間では当たり前のこと。赤字だから値上げは当然の考えは改めるべき。3つ目は口永良部島の水道工事不祥事問題がまだ解決に至っていない中で料金値上げは住民の感情を考えない、やってはならない政治だということ。(国への返納部分を、値上げで埋めようとするのかの反発は必至)22億円ある財調などの基金を活用しながら、事業の運営を見直していくことで値上げは避けられると確信する。

答 町長 収支の見直しも含め諮問している。今の段階で値上げと決めているわけではない。

他、「多目的施設」建設計画の中に地元材活用が盛り込まれているか、について質問しました。基本方針の中に、地元材の普及と啓発により地元産業の振興を図ると位置付けている、との答弁がありました。



一湊地区揚排水機場の整備について

問 昨年の台風6号の時、機能しなかった揚排水機場の整備は完了したのか。

答 町長 発電機の油圧センサーの故障が判明。部品交換を行い修繕は完了した。

問 バッテリーやエンジン周りの各所部品等の取り換え修繕も完全に終えたのか。

答 総務課長 オイルエレメントやベルトフィルターなどの消耗品についてもすべて交換は終えている。

問 栄電社との保守管理業務は可能だったのか。

答 総務課長 本年度より保守管理業務と補修管理業務の2つの契約を結ぶ。

問 水中ポンプの点検整備はできたのか。

答 総務課長 消耗品等の部品交換は行った。近い将来オーバーホールが必要だと伺っている。最終的に動作確認の試験は行ったと聞いている。

一湊林道線の改修について

問 通行止めになっている一湊林道の改修は。

答 町長 台風6号の被害により路肩が決壊している。災害復旧事業として今年度に工事を発注し工事の完成は8月中旬予定。



台風被害で路肩が決壊している一湊林道

他、旧一湊中学校・テニスコート敷地・トイレの今後の利活用について、旧一湊中学校グラウンド(健康づくり広場)の整備及びトイレについて、を質問しました。今後も事業者側と校庭等を利用する地域住民に開放しながら維持管理に努めていきたい、トイレについては、十分検討していきたいとの答弁がありました。



海底清掃プロジェクトについて

問 海底清掃で得られたごみの総量と廃棄費は。

答 町長 10月28日に1トン袋5袋、11月25日に1トン袋5袋を排出。排出されたごみは、いずれもクリーンサポートセンターで処理が困難な漁網や浮きなどのごみが多く、産業廃棄物として島外へ運ばれ、適正に処分された。廃棄費用については、契約額の中に包括されており、増減のあった項目ごとの個別経費報告は受けておらず、現在、確認、精査について申入れを行っている。

問 見積書の中には、最終で実費精算すると書かれている。

答 観光まちづくり課長 見積書の中で、終了後に実費精算という記載については確認をしている。ただ、町としては、海洋清掃業務として清掃活動が、作業のほうは海洋ごみの回収処理実施回数3日間を含め、実施時期、実施場所など適正に履行されていると判断をしている。

問 これはふるさと納税でいただいたお金なので、大事に扱ってもらいたい。報告もして、実費精算するべきだと思っている。

答 観光まちづくり課長 ごみの回収廃棄費用として数量20、単価5万円、金額100万円ということで清掃作業については書かれていた。オーシャナからの産業廃棄物管理票によれば、1トン袋合計10袋の排出となっており、見積書の予定数量のそこだけ見れば半分ということになるが、実際潜ってみて、予定していた量よりもごみが少なかったということもあり、逆に見積書の中では作業代は1日5名の3回、15名と想定していたものが、実施報告書では24名と増えていることや、また交通費などについても、見積書で示した金額よりも不足が生じているということも聞いていたので、包括的に鑑み判断をした。



児童が島外の医療機関を受診する際の旅費と宿泊費の助成

問 島外の医療機関での診察や治療が必要な児童を持つ家庭の負担を軽減

するために、適切な措置が必要だと考えるのがかか。

答 町長 現在のところ、町内の医療機関で治療できないため、町外の医療機関での医療が必要な先天性の疾患を持つ児童に対する旅費等の助成はないが、離島であるがゆえに交通費や宿泊費等の経費がかかることは十分理解ができる上、これからの子育て支援策の一つと考えることから、助成の内容や実施時期を含め、前向きに検討し、令和6年度のできるだけ早い時期から実施をしたい。

問 毎月、安心して受診や治療が受けられるようにしていただきたい。(助成の)回数制限についてどうお考えになるか。

答 町長 回数を制限しないようにしたいと思う。しかし、財源との関係もある。色々調査もして、なるべくその方にあまり負担がかからないような状況で、屋久島町がどれだけできるのかを慎重に検討をしてやりたい。

問 実際に令和6年度のいつぐらいまでに検討をして導入できるか。ある程度の方針を示していただきたい。

答 町長 大変な御苦勞をされていると思うので、いつとは言えないが、早い時期に取り組みたい。

この質問に関連する請願書が議会に提出されました。全会一致で採択されました。
※ P14 に記載しています。



その他、懲罰委員会について質問をしました。



国民保護法に基づく避難訓練について

問 本町が訓練対象地になった理由は何と考えているか。

答 町長 これまで実績が無かった離島からの全島避難を目的としており、二次離島を有し、平成27年の新岳噴火の経験を有する本町での開催決定と認識している。

問 訓練を終え、課題も含めてどう評価しているか。

答 町長 町の区域を超える訓練で、相互の連携を図ることができたことは大きな成果として報告されている。集落と連携し、要支援者等の実態把握が課題と考えている。

問 今後どのような対応を考えているか。

答 町長 万が一の際に確実な避難ができるよう、集落と情報を共有しながら、新たな問題点の洗い出しを行い、住民の安全確保に努めたい。

ウミガメの産卵実態について

問 ウミガメ産卵監視業務で把握した産卵頭数実態は。

答 町長 町内6ヶ所で把握している産卵頭数は、令和元年が95頭、2年が291頭、3年が508頭、4年が1,613頭、5年が1,106頭で、うち永田いなか浜、永田前浜での産卵が90%以上である。

問 栗生地区は永田に次ぐ産卵地であるが、栗生サゴシ浜の産卵環境についてどう思っているか。今後の対策は。

答 町長 流木や海岸ゴミ等の漂流が多く、ウミガメの産卵に支障が出ていることから、監視業務従事者等の協力を得ながら環境整備を行った経緯もある。国立公園地内でもあることから、環境保全に努める責務があるので、環境省はじめ、地域とも協議しながらウミガメ上陸産卵環境の維持に努めたい。



榎 光徳 議員

大規模災害時の避難対策は万全か

町長 防災計画の見直しは毎年行っている。

問 町全体の防災訓練が行われていないと思うが。

答 町長 以前は口永良部島の火山防災訓練は行っていたが、コロナ禍で出来ていなかった。来年度以降実施していきたい。

問 集落ごとにやっている所もあれば、やっていない地区もありまちまちである。全体でもやるべきでは。

答 町長 やる方向で検討したい。

問 指定避難場所の整備、食糧備蓄の現状は。

答 町長 食糧備蓄については、島内8ヶ所と口永良部島に5ヶ所。避難所は島内41ヶ所、口永良部島に5ヶ所に設置しており、必要な措置は計画的に実施している。

意 先月、町民との意見交換会を行ったが、防災対策に対する意見が多く関心の高さが伺えた。まだまだ整備されていない所があるとの声も多く、町民の不安を解消するためにも早急に対策を講じて頂きたい。

屋久島高校の学生寮設置の考えは

町長 新年度で対応する。

問 ここ数年、生徒数の減少により普通科1クラス減を余儀なくされており、みらい留学制度で島外生徒受け入れを行っている。以前から、寮の設置については議論をしてきたが、町長の見解は。

答 町長 令和2年度より「屋久島高校魅力化プロジェクト」として留学生の受け入れを行っており、令和5年度はクラス減が解消できた。これまで、受け入れ先を個人や民宿で対応してきたが限界が生じており、令和6年度より高校近くの民宿を1棟借り入れし、地域おこし協力隊を寮母として活用し寮としての運営ができるよう進めていく。令和6年度予算に計上し、13名程度の生徒を受け入れ可能で、全室個室としバス・トイレも完備し留学生の生活拠点となり、学習環境・生活環境が向上するものと思っている。

請願・陳情

第1回定例会に提出された請願は1件、陳情は1件でした。継続審査中の請願2件、陳情2件についても審査しました。

産業厚生常任委員会に付託

モバイルチリメーサ(可動式小型焼却炉) 配備を求める請願

・海岸漂着ゴミの適切な処理を行うため、専用の小型焼却装置の配備をして欲しい

もう少し議論・調査をするべきとの理由で継続審査となっていた。導入している民間会社等に聞き取り調査した結果、可動式小型焼却炉の運搬は決して容易な作業ではないようで、海岸に運んで使用するという事は困難と思われる。

産業厚生常任委員会で不採択、最終本会議→**不採択**

産業厚生常任委員会に付託

屋久島空港延伸に伴う早期着工及び小瀬田・長峰地区の歩道整備を求める陳情

・小瀬田地区を新たに都市計画地区に指定して整備をして欲しい。
・県道・歩道は幅員3mの両歩道の新設で街路樹は植えない、等。

継続審査となっていたが、今後、都市計画の在り方の検討委員会が設置されるので、議会として早々に意を表明するべきではない。

産業厚生常任委員会で不採択、最終本会議→**不採択**

総務文教常任委員会に付託

川内原発20年延長に関する陳情

・川内原発の20年延長は断念するよう意見書を決議して欲しい。
・再稼働の調査、審議問題なしとしている原子力規制委員会に対しても、各種決定を白紙撤回して改めて調査、審議をし直して欲しい。

今回の能登半島地震を教訓に川内原発に置き換えたとき幾つかの問題点もあり、もう一度見直し改めて再調査をすべしとの意見や、火力エネルギー等が高騰する中で水力や風力等の自然エネルギーで賄えるのかといった意見があった。

総務文教常任委員会で不採択、最終本会議→**不採択**

防災行政無線の屋外拡声器を使つての放送を必要最低限にして、それ以外の放送は戸別受信機にて放送することを求める請願

- ・屋外拡声器を使つての放送は、有事の際の放送と、作業点検のための放送にして欲しい。
- ・作業点検のための放送は、必要最低限、適時するようにして欲しい。
- ・それ以外の放送を戸別受信機で聞けるようにして欲しい。

拡声器がうるさいという声もあるが、緊急時や非常時の際の町民への重要な伝達機関であり、大変大事な放送であり理解をしてほしいとの意見や、防災行政無線と集落内放送を混同しているように感じているとの意見もあった。

区長会へも投げかけたが、特に意見はなかったとも聞いているとの意見もあった。

総務文教常任委員会で不採択、最終本会議→**不採択**

安房総合センター大ホールの存続と維持管理を求める陳情

- ・ホールの廃止、取り壊し等によって安房地区から同規模の文化施設が逸失することがないようにして欲しい。
- ・緞帳、空調ならびに雨漏りの修繕、吊物灯体や調光卓等、舞台設備の定期点検および入れ替えを計画して欲しい。

アリーナ構想が検討中であることも分かるが、南部の人たちはこの規模のホールを重宝してきており、なくしてほしくないといった意見等があった。

総務文教常任委員会で採択、最終本会議→**不採択**

産業厚生常任委員会に付託

児童の島外医療機関受診旅費・宿泊費の助成を求める請願

- ・町内の病院では診療が不可能な疾患を持つ、どの助成制度にも当てはまらない児童に対し、島外に医療機関を受診する際に旅費と宿泊費の助成をし、経済的な負担を緩和して欲しい。

産業厚生常任委員会で採択、最終本会議→**採択**

陳情・請願の採決結果一覧

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹
モバイルチャリメーサ(可動式小型焼却炉)配備を求める請願書	不採択	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
防災行政無線の屋外拡声器を使つての放送を必要最低限にして、それ以外の放送は戸別受信機にて放送することを求める請願書	不採択	×	×	×	欠	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	-
屋久島空港滑走路延伸に伴う早期着工及び、小瀬田・長峰地区の歩道整備について(第2・第3の項目)	不採択	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	-
安房総合センター大ホールの存続と維持管理について	不採択	○	×	○	欠	○	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	-
児童の島外医療機関受診旅費・宿泊費の助成を求める請願書	採択	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
川内原発の20年延長に関する陳情書	不採択	×	×	×	欠	○	×	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

※安房総合センター大ホールの存続と維持管理についての採決は、賛成7、反対7で同数になり、地方自治法第116条第1項の規定によって、議長が不採択と採決したため、不採択となりました。

3月21日最終本会議

令和6年度一般会計 予算案に修正案提案

修正案発議者 渡邊千護 議員

提案理由

令和6年度に実施する予定の海中環境保全等事業は、令和4年度から3か年計画で続けられており、水環境の保全と創造を行うため、屋久島の自然環境の保全と活用に取り組むという事業方針については評価ができるものであり、その事業計画には賛成の立場。しかしながら、本定例会に提案された事業計画について、担当の観光まちづくり課で詳しく事情を聞くと、予算案を提案するまでの過程において、複数の疑義や問題があることが分かったため、本修正案を出すことにした。

担当課長に経緯を尋ねたところ、予算案の詳細を決めるに当たり、どこの業者からも参考見積りを全く取っていないことが分かった。本予算案の作成に当たっては、過去2年間にわたり本事業に関わってきたダイビング業者のオーシャナ1社からの提案を参考にしたとのことだ。しかし、複数の業者から参考見積りを取ることなく、内々に特定の業者から受けた提案だけを根拠に予算案を作成することは、公金で運営される屋久島町としては絶対に許されないことは明らかだ。

さらに問題なのは、新年度から本事業を請け負う業者の選定方法が、これまでの特命随意契約からプロポーザル方式の競争入札に変わることに。さきに述べた業者のオーシャナは、過去2年間にわたり、再委託業者の立場も含めて、特命随意契約で独占的に本事業を請け負ってきた。以上の経緯を踏まえると、今、提案されている本事業の予算案は、特定の業者だけを優遇した極めて不平等なものであると言わざるを得ない。これらの状況を踏まえ、本定例会に提案されたグリーン・フィンズの事業の予算案については、まずは平等、公平かつ適正な形で予算案を作成し直すことを求める。

修正案に対する討論

賛成

真辺真紀 提案者と同様に、海中環境保全事業そのものには賛成の立場。しかしながら、令和6年度に実施予定のグリーン・フィンズの導入における予算案を提案するに当たっての経緯に問題があることが分かった。今年度、特命随意契約をしている業者から内々に提案を受け、それだけを材料に予算計上しており、そのような状況では平等・公平な競争入札の実施は不可能です。担当課も、この業者が請け負う可能性があると言っておられた。これでは、特定の業者と癒着をしていると言われても否定できない状況。複数の業者から見積りを徴するなどの適切な措置を取った上で、今後、提案予定とされている海底清掃の予算と併せて、6月定例会以降に再度提案することを要望する。

■採決■

賛成：5名

小脇淳智郎、真辺真紀、渡邊千護、高橋義友
渡邊博之

反対：9名

渡邊浩、内田正喜、相良健一郎、岩山鶴美
榎光徳、緒方健太、日高好作、岩川俊広
大角利成

パレスチナ・ガザ地区での即時停戦と人道支援再開を求める決議（案）

発議者 日高好作 議員

（議会運営委員長）

提案理由 イスラム組織ハマスによるイスラエルへの無差別攻撃を機に戦闘が始まり、双方の応酬によりパレスチナ・ガザ地区において深刻な人道危機が続いている。屋久島町議会として断固反対の意志を示し、世界恒久平和を希求する立場を表明するために決議を求める。

■全会一致で採択■

議員定数等調査特別委員会の調査報告

委員長 榎光徳

令和5年12月に開催した第3回の特別委員会において、これまでの議論を踏まえ、委員各位の考え方はほぼ固まっているとはいえ、諸般の情勢に鑑み、いま一度、町民の声を反映させるべく意見交換を持つべきとの声が多数出された。このことから、去る2月6日から9日にかけて開催された町民との意見交換会の中でテーマの一つとして定数問題を掲げ、意見収集を行った。

これらを踏まえ、2月27日に開催された第4回特別委員会では、最終的な意見集約を行い、結論を見いだすこととした。採決では、まず現状維持に賛成か減ずるかの採決を行い、賛成6、反対9となったことから、減ずることに決定した。次に、現在の16から2名減の14とすることに賛成か反対かを採決し、賛成12、反対1、棄権2となり、賛成が多数を占めたことから、屋久島町議会議員定数については14とすることに決定した。なお、委員会の決定を受け、議員発議により、屋久島町議会議員定数を定める条例の改正案を提出することとした。

屋久島町議会議員定数
条例の一部改正

発議者 榎光徳 議員

提案理由

屋久島町議会議員定数を16名を2名減じ14名とする。
・この条例は次の一般選挙から施行する。

■採決■

賛成：12名

渡邊浩、内田正喜、小脇淳智郎、真辺真紀
相良健一郎、渡邊千護、岩山鶴美、榎光徳
緒方健太、高橋義友、日高好作、大角利成

反対：2名

岩川俊広、渡邊博之

議員定数条例の一部改正に
反対
についての討論

渡邊博之 私の周りに削減すべきという声はほとんどない。行政区域の広いところを人口の規模だけで単純に定数を論ずるのはいかがかなど、現状維持をむしろ求める議論が多数だっただけに、この結果については驚天動地の思い。潮目は住民の皆さんと議会の意見交流会にあったと思います。ならば、その意見を検証する必要があったはずですが、その要望は無視をされ、結論を急ぐだけの委員会の判断は不完全燃焼と表す以外ない。住民の皆さんとの意見交流会では、議員の姿が見えないという理由で、定数削減すべきとの意見も複数ありました。これはこれで謙虚に受け止めなければならないが、定数削減は、ますます議員の姿が見えなくなり、この声を一層高めていくことになるのではないかと。

大角利成 これまでも特別委員会で議論をしてきた。委員の皆様御提案もあって、町民との意見交換会を開催をし、その結果も踏まえて、先般、委員会で議論をし、結論を出したというふうに私は受け止めている。その結果、このような提案がなされておりますので、私は十分議論がされたという立場から賛成。

教育長の任命



教育長として任命されました
同意しました

いしだ おゆきのり
石田尾 行徳 氏

令和6年第1回全員協議会 3月1日

町営牧場の指定管理者の指定

真辺真紀 現在、町に預託する畜産農家さんと、自分のところで育てている畜産農家さんの比率は。

産業振興課長 畜産農家が20農家ほどあるが、町営牧場に預託しているのが10農家ほど。

真辺真紀 雇用について、現在会計年度任用職員と正規職員が町営牧場の中にいらっしゃると思うが、4月1日から指定管理者制度を導入するに当たって、この雇用の意向というのはどうなるか。

産業振興課長 現在、長峰牧場に2名、旭牧場に3名。旭牧場の3名については、指定管理者のほうで意思を確認しており、3人引き続き雇用をしたいということで聞いている。長峰牧場の2名のうち1名については、指定管理者に移行するに当たって3月で退職したいということで聞いている。あと1名についてはまだ協議中だと思う。

大角利成 今回の預託料の値上げで、畜産農家が頭数を減らすとか、あるいはもう畜産をやめるとかというような心配はしてないか。どのような見通しをお持ちか。

産業振興課長 説明会をする限りでは、そのような心配は受けなかった。

廃棄物処理施設（ごみ処理施設） 建設工事の進捗状況

生活環境課より、工事中の廃棄物処理施設の敷地に地中障害物が多数存在したことによる、工事の遅延について報告がありました。



廃棄物処理施設建設中の地中にあった障害物

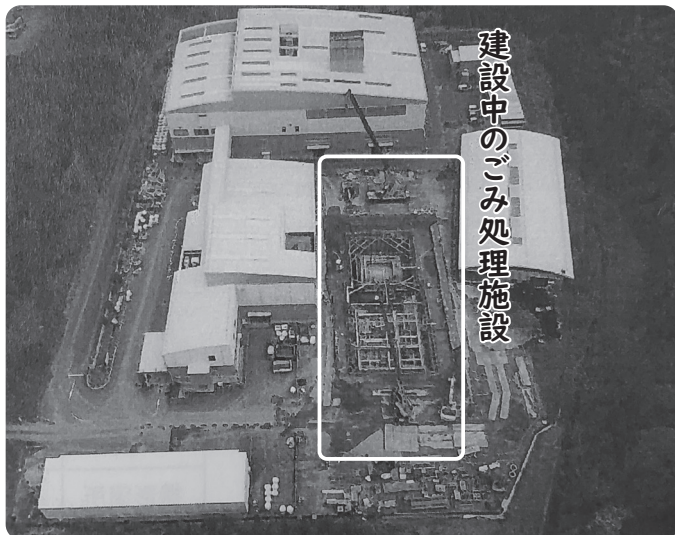
真辺真紀 地中障害物については、定点でボーリング調査を事業開始前にされてたと思うが、それで予見ができなかったものという認識でよろしいか。

生活環境課長 これに関しては、森の部分、自然石ももちろんあるが、当時、今の施設を造るに当たってここを整地した、そのときにまだ当時の大きな石も一緒に埋めていいというような法のもとで埋めた。だから、その段階ではまたここを掘り起こして工事をするというのは想定がなされてなかった。

実際、柱状の基礎工事をする中で、どうしてもそこから入っていかないといった場所が何点か出てきた。それが想定よりも相当大きな面上で出てきたというのもあり、これを砕かないと先に進まないというのもあり、急遽工法を変更して、オールケーシング工法という、たたいて割ってくり抜くというような工事をした後に、基礎となる柱状の棒となる改良杭を打っていくというような形。船便の欠航もあり、結果的には2か月ほどかかってしまったというような状況となった。

真辺真紀 特殊な重機の借り上げになったということですが、予算の中で収まっているという認識でよいか。

生活環境課長 しかるべきタイミングに、この予算の増減も含めて、契約の変更をさせていただくという流れになろうかと思う。



クリーンサポートセンター

サマナホテル屋久島の町民向け の入浴料の料金の改定

一般・町民とも大人 400 円、小人 200 円の値上げ

政策推進課より、旧国民宿舎跡地（旧 JR ホテル）貸付先の平川商事（株）が運営する、サマナホテル屋久島での日帰り温泉について、入浴料金を改定したい旨の申し出があったとの報告がありました。



大角利成 サマナホテルへの土地の貸付けの契約日、それから温泉の泉源の契約の月日は。

政策推進課係長 平川商事との賃貸借契約の契約締結日は、令和5年3月27日付け。それとあわせて温泉の協定も締結している。

真辺真紀 サンカラホテルさんに問い合わせをしたら、リニューアルオープンされる4月26日から（5月7日頃まで）一般の外来の温泉の利用はできない、計画では繁忙期、お盆前後と年末年始もお受けできないと思うというような返答があった。町は45%の温泉の権利を持っているが、何も口出しができない状態になっているのか、その辺が非常に気になる。料金の問題とは別にして、少しずつ外来の温泉を利用する人の利用の枠がどんどん減り、しまいには外来の温泉を受け入れないというのがあるのか、なしなのか。

政策推進課係長 今回の料金の申出も急な形でこられたので、急にそういう形でのというのは申し上げたところ。やはり地域住民の還元ということもあって、これまでの経緯があって、ただJRさんから変わったという部分もあるのだろうが、そういう部分も引き継ぐときに町としても話はさせていただいたつもりなので、引き続きしっかりと町の考え方も示していきたい。

多目的交流センター基本計画の 進捗状況

中馬慎一郎 防災拠点の施設ということだが災害時の施設利用イメージで、災害時の収容人数540人になっている。当然、540人では宮之浦集落も難しい。これを造るときの外部コンサルというか防災コンサルという方なんかもいると思うが、そういった方々の意見も聞いて今後、独自に検討していく方向はあるのか。

政策推進課係長 この災害時の想定収容人員の計算については、1人当たり2㎡ということで、必要面積を2㎡で割って算出した数字になっている。そのほか、防災機能として発電機を整備したり、防災備蓄倉庫を整備したり、貯水槽を整備したりということも庁舎内各関係担当者で話し合って計画に盛り込んだところ。防災のコンサルタント、専門の防災コンサルタントについての依頼などは特段行っていない。この基本計画が策定されたら、詳細な設計は進めていくが、具体的な防災コンサルタントについては今のところ予定していない。

公用車での事故 損害賠償 58 万円の専決処分

教育総務課より、会計年度任用職員が運転する公用車が学校駐車場で後進した際、駐車していた相手方車両に接触し一部を破損した事故において、修理に係る費用を全額負担することになったとの報告がありました。

相良健一郎 車にバックモニターがついているかどうか。

教育総務課統括係長 ついている。

中馬慎一郎 この事故において、運転手並びに人的な事故はなかったと思うが、事故防止対策として、1人で運転手がバックしていくというのが非常に怖いと感じた。その辺り何か学校側と協議があったとかそういう話はないか。例えば、先生たちが誰かについて後ろを確認していくとか、そういったものはないか。

教育総務課統括係長 この事故を受けまして、そのような対応をするという協議はしていない。

令和6年第1回臨時会

会期：5月1日

採決結果一覧

	結果	渡邊 浩	内田 正喜	小脇 淳智郎	中馬 慎一郎	真辺 真紀	相良 健一郎	岩山 鶴美	渡邊 千護	榎 光徳	緒方 健太	高橋 義友	日高 好作	岩川 俊広	渡邊 博之	大角 利成	石田尾 茂樹
介護保険条例の一部改正に伴う専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
税条例の一部改正に伴う専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和5年度一般会計補正予算(第9号)の専決処分事項報告	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第4号)の専決処分事項報告承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-
副町長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-

欠席理由
渡邊博之：病氣療養

※議長は議事進行を行うため、原則として賛否の表明はしません。

副町長の選任

いわかわ しげたか
岩川 茂隆 氏

副町長として選任することに同意しました。



令和6年第2回全員協議会 5月1日

オスプレイ墜落事故に係る水質等調査の結果

九州防衛局からの資料に基づき、総務課より、水質調査の結果について、事故によるものと考えられる特異な値や明瞭な影響等は確認されず、事故による環境汚染及び人の健康に対する影響はないものと考えられる、との報告がありました。

真辺真紀 調査項目が水質調査カドミウムなど26項目についてとされている。この26項目は防衛省のホームページで確認できるのか。

総務課長 4月23日付の防衛省のホームページでも同じものと、細かいものが載っている。

選挙管理委員の交代

選挙管理委員会の事務局より、選挙管理委員会の委員であります令和5年12月25日から着任していた坂本謙司氏が、一身上の都合により、昨日、令和6年4月30日付けて辞表を提出。後任として、第1補充員である、牧野修三氏が引き続き任期の令和9年12月24日までという形で、本日付けて着任することとなったとの報告がありました。



多目的交流センター基本計画の進捗状況

政策推進課より、多目的交流センターについての住民説明会の実施状況と、パブリックコメントの実施結果についての報告がありました。

中馬慎一郎 住民説明会、前回ちょっと人数も少なかったが、今後また行われる予定があるのか。もし行われるならどういったタイミングでこの計画がどういった進捗の状況で行われるのか。住民説明会、前回本庁でされたが、当該地域に当たる宮之浦地区での住民説明会というのはどうお考えか。

政策推進課係長 基本的には、新たな情報が分かった段階である程度まとめて説明をしていきたい。変更点が出た段階や事業費が分かってきたそういった段階で説明をする機会をたくさん作っていろいろな御意見を頂きたいと思っている。今回の住民説明会についても、ウェブ参加という形で御自宅からも説明が受けられるような方法をとっている。こういったものも十分広報しつつ、必要であればこの宮之浦校区等も説明をするということは検討していきたい。

真辺真紀 安房の総合センターのホールが使えないということが具体的に話し合われていないという現状、各集落を回ると避難の設備がしっかりしてないということも、皆さん懸念されている。各地のホール、避難施設をどう捉え、公共施設を建てることと関連して考えているか。

政策推進課係長 公共施設の公民館等も含めて、公共施設の再配置計画、個別計画というのは検討をして、その中には住民の皆さんも御参加を頂いた上でワークショップを開いたり、宮之浦校区、安房校区、尾之間校区の公共施設の在り方ということについて検討したことを踏まえて今回の交流センターの建設ということを計画している。

真辺真紀 今回の多目的ホールは今のところ22億5千万円、宮之浦の体育館の解体をすると25億円超えてくると思う。なので今手をつけられていないところに手もお金もつけられるのか、島内全域の防災として整備が早々にできるのかどうかというのが、住民からすると非常に不安。

屋久島おじゃんせウエルネスセンター建築計画の中止

政策推進課より、尾之間庁舎跡地に建設計画があったウエルネスセンターの建設計画が中止になったことについての報告がありました。



利活用が待たれる尾之間庁舎跡地

真辺真紀 南日本新聞でも取上げられたり、町のホームページでも紹介があったので、町民の期待が大きい。町のほうでも情報を出したほうがいい状況。町からどのような告知をされる予定があるのか。

政策推進課長 7月頃には工事着工するというお知らせをしていたので、今回見直しをされるということだけは、まず一報を出して順次情報を追加していきたい。

大角利成 情報の出し方はどんなふうに考えているか。例えば、町報で町として町民に情報発信した経緯があるが、どのような方法を町としては考えているか。

政策推進課長 町民の皆さんに対しての安心を取るには、例えば、歯科医療はやる予定ですよとかそれが言えればいいが、今のところ提案をまだ頂いていないので、今、案で考えているのは、建設予定をしていたものを見直しされることになりましたという形で広報をしようと考えている。

※このことについては、町民との意見交換会の際に質問があり、担当課の回答をP23に掲載しています。

町民との意見交換会での意見に対する回答

前号で掲載させていただきました、2月開催の町民との意見交換会にて出された意見に対し、回答が必要な項目について、町の担当課より回答をいただきました。

旧尾之間庁舎の取り壊しについて、その後の跡地利用について集落に対して説明を求める。

政策推進課 当初の予定では、医療・介護・福祉に関する複合施設の建設を今年の夏頃に着工予定であったが、諸般の都合により事業内容や着工時期を見直すこととなり、事業者である医療法人観音会において改めて事業内容を整理している。

事業の進捗状況は町報や町のホームページほか、事業者側でも周知する予定であり、現在のところ説明会などは検討していない。

野良猫がふえている。町として補助を増やし、野良猫を減らして欲しい。野良猫にえさをやるとカラスが増えるのでネコを飼っている人の教育も必要。TNRを奄美は行政がやっている。本町では捕獲器を借りる手続きが面倒、区長のサインがなぜ必要か。

生活環境課 捕獲機の借用手続きにおいては、過去において土地所有者への承諾なしでの設置が相次ぎ、町への苦情が多々あったことから、集落が関与して頂くことで住民間のトラブルを防ぎ、猫の適正飼育の気運を高めるためにも、区長の同意を得ることとしている。

不妊去勢手術補助はボランティア活動の方々や他と様々な意見交換を行い、協議を重ねた結果、雌の手術額が多額の事から雌猫の補助額を5,000円増額し、年間通して活用できるように要項の改正を行った。

人口減少対策として嫁とり対策は町として考えているか。

観光まちづくり課 これまでの婚活イベントにおいて、一定の成果が得られていることを認識している。島内から男女の出会いと交流の場を提供して欲しいとの要望があり、今年度の事業実施に向け準備を進めていく。

海岸漂着ゴミはクリーンサポートセンターへの日曜搬入、また町で搬送できないのか。

生活環境課 日曜搬入については職員配置のための運営管理委託費の見直しが必要となり、機器点検整備において通常業務に支障が生じる恐れが生じる。

海岸漂着ゴミ回収については、クリーンサポートセンターへの持ち込みを原則としているが、困難な場合は、分別を行った上で「海岸ゴミ」と明記の上、近隣ゴミステーションに持ち込むことを認めている。現状の体制にご理解とご協力を求める。

長峰牧場で働く人が少ない、経営がなりたっているのか、採算はあるのか。広い牧場で鹿を飼って鹿肉を活用した一次産業をベースに畜産は安定していくのではないか。

産業振興課 屋久島町営長峰牧場は、民間事業者が有する専門知識や経営資源を町営牧場の管理運営に活用する事で、経営の合理化を目的とした指定管理者制度を令和6年4月より導入した。屋久島町営牧場等運営委員会を立ち上げており、今後も委員会を活用した健全運営に努めていく。

ヤクシカを飼う行為は、農林業被害軽減を目的とした個体数を減らす取り組みに逆行している。全国的にも慢性的な経営が現状であり、施設整備や維持管理費においても個体が小さく歩留まりが悪いヤクシカの取り扱いが厳しいと考える。



健康の森グラウンド・安房体育館の今後について複合的なビジョンについて考えがあれば示して欲しい。

社会教育課 「屋久島町公共施設等総合管理計画」の基本方針の一つとして、【長寿命化の推進によるライフサイクルコストの軽減】が定められている。健康の森公園・安房体育館についても例外ではなく、施設が使用可能な限り使用し、計画的な点検や修繕、必要に応じて大規模改修を実施するなど、施設の長寿命化を図っていくこととしている。現時点において実業団等の受け入れが可能な新規施設の整備計画や既存施設の更新計画はありませんが、必要に応じてニーズの把握に努めたいと考えている。

吉田地区避難所発電機メンテナンスの回数が少ないのでは。備蓄食品の賞味期限切れはどうするか。

総務課 吉田地区コミュニティセンターに設置してある、非常用自家発電機については、電気事業法規定による自家用電気工作物には該当しないため、電気主任管理者による保安管理を行う義務はない。しかしながら、この施設は吉田地区の避難所として位置付けており、台風接近時等には実際に多くの住民が避難する施設であることから、良好な状態を維持するため2月に1回は電気主任管理者による保安管理を委託している。点検の際に不具合が発見された場合には可能な限り早急な修繕に努め、その結果、現在判明しているスターター等の不具合についても修繕するよう事務手続きを進めており、5月末までには契約できる見込み。

備蓄食品の賞味期限切れについては、在庫管理を適切に行い、単に処分することが無いよう、期限が切れる前に例えば学校等での防災に関する出前授業の機会や、各地区における防災会議等の場において、サンプルとして試食するなど有効活用したいと考えている。

屋久島は全島での防災訓練がない。町としての避難訓練をすべきではないか。

総務課 口永良部島の噴火発生日である「5月29日」を防災について考える日と位置づけ、町民一人ひとりが日頃の備えや、自身が生活する中での災害の危険性について、今一度考える機会といたく「屋久島町防災の日」を制定したいと考えている。防災について個人が考え備えることも防災訓練として有効であることから「屋久島町防災の日」の活用による防災意識や自助、共助意識の高揚について、町からチェックシートのような折り込みチラシを配布することにより町民の皆様に対して取り組みへの参加を促していくことを計画しており、また来年度は、口永良部島噴火から10年を迎えることから、関係機関と協議しながら、「屋久島町防災の日」前後の土日に多くの町民参加のもと、防災訓練の実施を計画している。

春田浜海水浴場休憩棟の解体後はどうなっているか。

観光まちづくり課 同海水浴場は多くの利用者が集う場所である。屋久島都市計画公園条例において「春田浜海浜公園」と規定されており、観光・交流施設の観点から鹿児島県地域振興推進事業による整備も考えられ、関係各課で協議を行い、財源確保を見据えながら整備に向けて準備をしたい。

グラウンドゴルフの大きな大会ができるよう、旧一湊中グラウンドの整備ができないか。

社会教育課 芝生広場の整備には多額の費用が掛かることや整備後の維持管理などの課題はあるが、一湊区をはじめ関係機関と継続的に協議を行い、事業化に向けて取り組んでいきたい。



町民の声

- ・調査活動などの報告をもっと細かく掲載して欲しい。
- ・時系列ではなく、特定のテーマについて論議を掲載するのもひとつの方法かと思う。例えば、「安房総合センター」について、時系列または項目別で論議を紹介するなど。
- ・綴じるための穴で字が読めない。
- ・議員の欠席理由を掲載するべき。
- ・複数箇所でも文の右端が不揃い。

他、複数箇所の改善点のご指摘をいただきました。じっくり読んで頂き、ありがとうございます。改善点について、十分検討し、読みやすい広報誌編集作りに励んでいきます。

議会の動向

日付	内容
3 12	各中学校卒業式
	22 各小学校卒業式
	28 屋久島空港ターミナルビル株式会社定時株主総会
4 2～4	屋久島空港滑走路延伸の新規事業化に係る表敬訪問（東京都）
	28 屋久島町ふるさと産業祭り
5 1	令和6年度第1回臨時会、全員協議会
	8 熊毛郡町議会議長会定期総会（鹿児島市）
	種子島屋久島議員大会事前協議及び研修会
	9 鹿児島県町村議会議長会臨時総会（鹿児島市）
	町村議会研修会（鹿児島市）
	21 全国町村議会議長・副議長研修会（東京都）
	26 屋久島町消防操法大会
	31 議会運営委員会・全員協議会
6 7	第2回定例会

編集後記

季節の移ろいに伴い、長雨が続き、夏日が来たり、朝晩は冷え込んだりと気候も変わりやすく、それだけに体調を崩す方もいるのではないのでしょうか。四季折々に自然の変化を楽しめるのがこの島の特徴ではありますが、皆様日々の体調管理には気を付けて万全にお過ごし下さい。議会だより66号は如何でしたでしょうか。これからも町民の皆様「読まれる広報誌」を目指し取り組んでいきたいと思っております。ご意見などございましたら是非お聞かせ下さい。

中馬慎一郎

自治功労者表彰

3名の議員が長年の議員活動に関し自治功労者表彰を受け、第1回定例会において議長より表彰状の伝達が行われました。自治功労者表彰は、地方自治の振興発展への功績が認められた方に授与されるものです。



- 高橋義友議員**・・在職14年 このような表彰をいただいたのも町民の皆様のおかげです。これからも、皆様の声を町政に反映できるように頑張ります。
- 日高好作議員**・・在職24年 町民の皆様には今日まで永きにわたり御支援を下さり、議席を与えていただいておりますことに心より感謝申し上げます。
- 岩川俊広議員**・・在職24年 町民の皆様の御支援により、議員活動をしてこられました。心より感謝申し上げます。初心を忘れず、活動していきます。

ご意見募集

広報委員会では、町議会に対する皆様のご意見を募集しています。生活のお困りごとや、町政への提言、取材の申し込み等、以下の方法によりご連絡ください。ご氏名、ご住所、ご連絡先、ご意見等の内容が分かるようお願いいたします。

郵送：〒891-4207 屋久島町小瀬田849番地20
議会事務局（広報委員会）宛て

Mail: gikai@town.yakushima.kagoshima.jp

LINE: @599vfnm

（右のQRコードでも登録できます）



議会を傍聴しませんか

次の定例会の予定は

6月7日 開会

6月8日～ 一般質問

6月20日 最終本会議

※都合により変更となる場合があります。

表紙の写真は、木育インストラクターによる木育のひとこまです。次号にて特集を掲載する予定です。